



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月4日

上場取引所 東大

上場会社名 ミツミ電機株式会社

コード番号 6767 URL <http://www.mitsumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森部 茂

問合せ先責任者 (役職名) 総務部部长 (氏名) 野口 晋弘

TEL 042-310-5333

四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	92,742	△9.7	△2,422	—	△3,234	—	△1,923	—
22年3月期第2四半期	102,684	△28.2	6,284	△59.8	5,231	△67.0	3,508	△62.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△22.00	—
22年3月期第2四半期	40.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	202,849	140,992	69.5	1,612.19
22年3月期	202,570	148,617	73.4	1,699.37

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 140,992百万円 22年3月期 148,617百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	35.00	35.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,800	△7.1	△1,500	—	△2,600	—	△1,500	—	△17.15

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 \_\_\_\_\_）、除外 一社（社名 \_\_\_\_\_）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	87,498,119株	22年3月期	87,498,119株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	44,017株	22年3月期	43,464株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	87,454,395株	22年3月期2Q	87,455,597株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) セグメント情報.....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
4. 補足情報.....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況.....	9
(2) 所在地別損益の状況.....	10
(3) 海外売上高.....	10

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済の情勢を概観しますと、新興国の景気拡大基調に変化はありませんが、先進国での景気浮揚策の効果が薄れつつあり景気回復ペースは鈍化傾向にあります。

日本経済におきましても、猛暑による一部耐久消費材の需要増、環境対応の自動車・家電・住宅取得への補助金支給や、地上波デジタル放送切り替えに伴うテレビの買い替え需要等、景気を活性化する好材料はありましたが、設備の潜在的余剰感による設備投資額の伸び悩み、駆け込み需要の反動による在庫調整、8月以降の急激な為替相場の円高による輸出企業の業績圧迫等、悪化材料も顕在化してまいりました。

当電子部品業界におきましては、新興国の好調な需要に牽引されスマートフォン・薄型テレビ・自動車等の市場拡大により関連部品が好調を持続しておりましたが、パソコン向け部品の在庫調整が継続し、車載関連部品も悪化傾向が見えてまいりました。

当社グループにおきましても、スマートフォン・薄型テレビ関連製品に加えてその他用途の汎用製品も好調な受注を維持いたしました。アミューズメント関連製品等の受注が低迷いたしました。その結果当第2四半期連結累計期間売上高は927億4千2百万円（前年同期比90.3%）となりました。また、損益につきましては、コスト削減諸施策を推進いたしました。円高の影響もあり、営業損失24億2千2百万円（前年同期の営業利益は62億8千4百万円）、経常損失32億3千4百万円（前年同期の経常利益は52億3千1百万円）、四半期純損失は19億2千3百万円（前年同期の四半期純利益は35億8百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における製品集計区分別の業績は、次のとおりであります。

## ① 半導体デバイス

半導体デバイスにつきましては、携帯機器向け関連製品の受注が好調に推移し売上高は193億4千6百万円（前年同期比130.1%）となりました。

## ② 光デバイス

光デバイスにつきましては、携帯電話用カメラモジュールの受注増加により売上高は65億1千8百万円（前年同期比124.1%）となりました。

## ③ 機構部品

機構部品につきましては、コネクタ・モータ・コイル等の汎用製品はデジタルカメラ、携帯機器向け受注が増加しましたが、アミューズメント関連製品の受注減少により売上高は362億9千8百万円（前年同期比77.1%）となりました。

## ④ 高周波部品

高周波部品につきましては、一部モジュール製品の受注減少がありましたが、セットトップボックス・車載用関連製品の受注は堅調に推移したことにより売上高は171億6千2百万円（前年同期比100.5%）となりました。

## ⑤ 電源部品

電源部品につきましては、デジタルカメラ向け製品の受注は堅調に推移しましたが、アミューズメント関連製品等の受注減少により売上高は105億7千1百万円（前年同期比74.2%）となりました。

## ⑥ 情報通信機器

情報通信機器につきましては、不採算製品事業の終息を継続的に進めてまいりました結果、売上高は28億4千3百万円（前年同期比68.6%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における地域別の業績は、次のとおりであります。

## ① 日本

国内におきましては、薄型テレビ等を中心とした地上波デジタル関連製品の受注は引き続き増加いたしました。アミューズメント関連製品等の受注減少により売上高は497億8千3百万円（前年同期比78.4%）、営業損失48億4千万円（前年同期の営業利益は26億4千4百万円）となりました。

## ② アジア

アジアにおきましては、モジュール関連製品、高周波部品の受注増加により売上高は412億7千9百万円（前年同期比109.1%）、営業利益は24億8千7百万円（前年同期比65.5%）となりました。

## ③ 欧州

欧州におきましては、車載用部品の受注増加により売上高は11億5千7百万円（前年同期比128.8%）、営業利益は6千8百万円（前年同期比350.4%）となりました。

## ④ 北米

北米におきましては、車載用部品の受注増加により売上高は5億2千2百万円（前年同期比117.4%）、営業利益は6千3百万円（前年同期比249.7%）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 当第2四半期の財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億7千8百万円増加し、2,028億4千9百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が146億7千7百万円減少いたしましたが、棚卸資産が75億9千3百万円、現金及び預金が34億7千3百万円、有形固定資産が23億1千5百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて79億3百万円増加し、618億5千7百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が68億3千8百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて76億2千5百万円減少し、1,409億9千2百万円となりました。これは、当第1四半期に配当金の支払いをいたしたこと、円高による為替換算調整勘定が26億3千1百万円変動したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.9ポイント減少し69.5%となり、1株当たり純資産は87円18銭減少し、1,612円19銭となりました。

## ② 当第2四半期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より30億4千万円増加し、589億1千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純損失31億7千万円に加え、棚卸資産の増加がありましたが、売上債権の減少及び仕入債務の増加により139億2千万円の収入(前年同期は204億9千5百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出、定期預金の預入による支出などにより68億6千2百万円の支出(前年同期は36億2千1百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払い等により30億5千6百万円支出(前年同期は36億8千万円の支出)となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度(平成23年3月期)の連結業績予想につきましては、平成22年11月4日に公表の「平成23年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算出方法

当第2四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

#### ① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	60,721	57,247
受取手形及び売掛金	54,901	69,579
製品	2,903	2,995
仕掛品	3,577	3,229
原材料及び貯蔵品	25,613	18,276
その他	6,972	4,916
貸倒引当金	△63	△90
流動資産合計	154,627	156,154
固定資産		
有形固定資産	41,606	39,291
無形固定資産	1,877	2,089
投資その他の資産	4,738	5,034
固定資産合計	48,222	46,415
資産合計	202,849	202,570
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,552	34,714
短期借入金	5,113	5,675
未払法人税等	289	281
賞与引当金	1,503	1,630
その他	9,692	7,933
流動負債合計	58,151	50,235
固定負債		
退職給付引当金	595	623
その他	3,110	3,094
固定負債合計	3,705	3,717
負債合計	61,857	53,953
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	39,890	39,890
資本剰余金	43,252	43,252
利益剰余金	73,760	78,745
自己株式	△89	△88
株主資本合計	156,813	161,798
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2	10
為替換算調整勘定	△15,822	△13,191
評価・換算差額等合計	△15,820	△13,181
純資産合計	140,992	148,617
負債純資産合計	202,849	202,570

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

ミツミ電機株式会社(6767) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	102,684	92,742
売上原価	89,313	88,730
売上総利益	13,370	4,012
販売費及び一般管理費	7,086	6,435
営業利益又は営業損失(△)	6,284	△2,422
営業外収益		
受取利息	56	47
受取ロイヤリティー	65	62
特許権使用料戻入額	—	198
その他	112	150
営業外収益合計	234	458
営業外費用		
支払利息	53	25
固定資産除却損	207	161
為替差損	427	933
その他	598	150
営業外費用合計	1,287	1,270
経常利益又は経常損失(△)	5,231	△3,234
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
保険差益	—	63
特別利益合計	2	63
特別損失	—	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,233	△3,170
法人税等	1,724	△1,246
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,508	△1,923

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,233	△3,170
減価償却費	5,277	4,989
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△208	8
前払年金費用の増減額(△は増加)	312	181
受取利息及び受取配当金	△57	△48
支払利息	53	25
為替差損益(△は益)	△456	△617
固定資産売却損益(△は益)	0	3
固定資産除却損	207	161
保険差益	—	△63
売上債権の増減額(△は増加)	△5,271	13,946
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,474	△7,992
仕入債務の増減額(△は減少)	20,733	7,541
その他	617	△897
小計	20,969	14,067
利息及び配当金の受取額	65	54
利息の支払額	△55	△24
保険金の受取額	—	285
法人税等の支払額	△483	△462
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,495	13,920
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△113	△674
定期預金の払戻による収入	69	61
有形固定資産の取得による支出	△3,295	△6,169
有形固定資産の売却による収入	145	116
無形固定資産の取得による支出	△195	△192
投資有価証券の取得による支出	△199	—
その他	△32	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,621	△6,862
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△625	—
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△3,054	△3,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,680	△3,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△875	△961
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,317	3,040
現金及び現金同等物の期首残高	38,636	55,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,954	58,910

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）（単位 百万円）

	日 本	ア ジ ア	欧 州	北 米	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	63,489	37,851	898	444	102,684	—	102,684
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	32,378	54,536	16	223	87,155	(87,155)	—
計	95,867	92,388	915	668	189,839	(87,155)	102,684
営 業 利 益	2,644	3,799	19	25	6,489	(205)	6,284

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）（単位 百万円）

	ア ジ ア	欧 州	北 米	計
I 海 外 売 上 高	39,602	2,493	450	42,546
II 連 結 売 上 高				102,684
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	38.6	2.4	0.4	41.4

## 【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

当社グループは、電気、通信機器の部品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を製品集計区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	生産高 (百万円)	前年同期比 (%)
半導体デバイス	19,425	130.8
光デバイス	6,485	123.7
機構部品	36,051	75.0
高周波部品	17,226	100.9
電源部品	10,537	74.1
情報通信機器	2,783	66.3
合 計	92,508	89.3

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を製品集計区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
半導体デバイス	19,740	128.4	3,729	115.2
光デバイス	6,452	120.4	1,638	85.7
機構部品	37,848	78.0	5,367	85.8
高周波部品	18,331	94.3	6,775	119.4
電源部品	10,572	70.0	1,510	55.7
情報通信機器	3,692	97.5	1,195	328.2
合 計	96,637	89.8	20,218	100.3

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を製品集計区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	販売高 (百万円)	前年同期比 (%)
半導体デバイス	19,346	130.1
光デバイス	6,518	124.1
機構部品	36,298	77.1
高周波部品	17,162	100.5
電源部品	10,571	74.2
情報通信機器	2,843	68.6
合 計	92,742	90.3

(2) 所在地別損益の状況

当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位 百万円)

	日 本	ア ジ ア	欧 州	北 米	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	49,783	41,279	1,157	522	92,742	—	92,742
(2)セグメント間の 内部売上高又は振替高	35,739	46,329	17	295	82,382	(82,382)	—
計	85,523	87,608	1,175	817	175,124	(82,382)	92,742
営業利益又は営業損失 (△)	△4,840	2,487	68	63	△2,221	(201)	△2,422

(3) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

(単位 百万円)

	ア ジ ア	欧 州	北 米	計
I 海 外 売 上 高	44,176	1,996	767	46,941
II 連 結 売 上 高				92,742
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	47.6	2.2	0.8	50.6